

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科:	理学部数学科		学年:	3 年
留 学 先:	国:	デンマーク	大学/機関:	東海大学
期 間:	2024 年 2 月 17 日 ~ 2024 年 3 月 17 日			
	短期 ・中期・長期 ※○で囲んでください。			計 1 ヶ月

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名 (受講科目・複数可)

・授業時間数: 12

・科 目 名:

Bushcraft(図工の大人 ver.)、Danish culture(デンマークについて)、Yoga、Fitness(体力トレーニング)、Tricking(マットで前宙・バク宙)、Volleyball、Football(サッカー)、Cardio(有酸素運動)、Badminton、Hygge(リラックスする授業)

時 間	月	火	水	木	金	土	日
	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
	Bushcraft	Fitness	Bushcraft	Danish culture	Badminton	Free	Free
	Danish culture	Tricking	Football	Hygge	Volleyball	Free	Free
	掃除		掃除		掃除	Free	Free
	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	Free
	Assembly	Assembly	Assembly	Meeting	Assembly	Free	Free
	Yoga	Volleyball	Free	Football	Free	Free	Free
	ディナー	ディナー	ディナー	ディナー	ディナー	ディナー	ディナー

*時間に関しては曜日によって変則的であるため省略。基本的に 1 コマ 90 分の授業で構成されている

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

ほとんどの授業が 10~20 人で構成されていた。また、授業をとっていても出席が自由なの

海外派遣留学生 留学報告書

で人数が少ない日もあった。

国籍の割合はだいたい(デンマーク：アジア系：その他＝7：1：2)

担当の先生に関してはその分野に特化した専門的な指導してくれる先生が各教科についてくれる仕組みだった。人生を見つめ直す学校なだけあってその教科から自分の人生を考え直すことを念頭において指導してくれる先生がほとんどなので、今までの学校で行ってきた教科指導と少し違う印象で非常に満足している。

授業方法は日本とは大きく異なり、生徒同士の対話は勿論のこと先生を含めて意見交換をする方法をとっていた

スポーツをとっていたため自分は特になかった

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

毎日授業が終わった後に自由に参加できるクラブ活動(Volleyball や Japanese など)が設けられており、週末は基本的に自由時間なので先生が主催するイベントや生徒が主催するイベント(現地サッカー観戦やパーティー、サウナなど)に参加することができる。また、これらの参加は任意な為、自分達で計画してデンマークを観光する人や寮でゆっくりする人など様々である。

研修旅行は2回、首都の**コペンハーゲン**と日本の下北沢のような都市である**ノアプロ**に行った。ただ観光するのではなく事前に訪れる都市の歴史を学ぶカリキュラムが組まれていたり(**Danish culture**)、現地でフォトラリーをしてみんなで競いながらその都市の魅力を感じたりなど、その場所の知識や経験が得られるような研修旅行だった。現地のデンマークの人も日本人に混ざって研修をするので普通の旅行とは違う経験をすることができた。

余暇の過ごし方は上記に記したようなイベントに積極的に参加していた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

ガーデンルーム

大きなリビングな感じでそこでみんなで集まってボードゲームをしたり会話したりする

・体育館

バスケットボールやフットサル、バレーボールなどオールジャンルのスポーツができるのでそこで体を動かしていた。

プレスト

1番近いスーパーがある町で徒歩片道約40分かかる。最初は楽しんで行っていたが後半は面倒くさくなり、現地のデンマーク人に自転車を借りて行っている人やバスを利用して行っている人もいた。

その他

校内には様々なコンセプトの部屋があり自由に出入りすることができるので自分のお気に入りの場所を見つけるのも楽しみのひとつ。具体的にはPCゲームの部屋や日本文化の部屋、1LDKのキッチンの部屋など。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋:1部屋2人で使用

海外派遣留学生 留学報告書

様子:

私は東海大生と同部屋だったが、1人だけ他大学生と同部屋であった。ルームメイトは基本的にランダムで希望を出せば他国の人と同部屋にできる。(延長コードがあると便利)

お風呂はなくシャワーのみで女性専用と共用の2種類がある。寮のトイレは共用だが校舎内は別々。

食事は1日3回(日曜日は2回)でbuffetスタイル。別途で寮に共同の1LDKの部屋があるのでそこでご飯を作って食べたりしていた。

洗濯機はキャッシュレスランドリーがあり、乾燥室も備え付けである。全て共用なので女性の方は下着類を部屋で干すためのものがあると便利。

給食当番が週に1回程度、掃除が週に3回ある。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

楽しかったこと:

スポーツなどを通して言語を超えた交流

授業で行われるスポーツはどれも本格的な練習でありながらもできる・できないが大切ではなく、そこでの感情を大切にしていた。また、言語がうまく伝わらなくてもスポーツでの交流というのはそれ以上の価値があるものだと感じた。

デンマークをはじめ様々な国籍の人とコミュニケーションすることができたこと

デンマークの人は勿論のことそれ以外の国の人もあるので、その文化や言語を教えてもらう機会があり、そこから会話が盛り上がるなど非常に貴重な経験をすることができた。

寮での生活

出会って間もない東海大生や他大学の生徒、現地の学生と同じ寮で生活することは一見大変そうに見えるが協力し合いながら充実した生活を送ることができた。

その他

ここでは文字数の関係上書くことができないが全てが楽しいと言える毎日で充実した日々を送ることができた。あの時間が戻ってこないと考えると非常に寂しい。

苦労したこと:

物価の高さ

日本の2~3倍くらいで具体的には日本にもあるファーストフード店がデンマークだと2,000~3,000円くらい。

食文化の違い

デンマークは主食がパンであるためご飯好きは忍耐力が必要。寮でご飯がだされるがタイ米などが多く、お世辞でも美味しいとは言えなかった。また、あまり食事の美味しさにこだわらないため、日本のご飯が恋しくなる。

お金事情

デンマークはキャッシュレス化が日本より進んでいるため現金をほとんど使わない。交通機関を利用する際にDOTもしくはDSBというアプリを基本的には使うのだが、その支払いの際に日本のクレジットカード会社のセキュリティが厳重なため買えない人もいた。

英語のできなさ

校内では日本人への理解がある人がほとんどなためゆっくり話してくたりするが、郊外に

海外派遣留学生

留学報告書

出るとネイティブになるのでそのギャップに苦しめられた。また、今回は大阪大学のデンマーク語専攻の方も同じプロジェクトに参加しており、どうしても比較してしまい英語をもう少し勉強してから臨めばよかったと後悔している。

[7] 留学の成果について教えてください

語学力の向上：

英語は 1 番嫌いな教科かつ卒業論文に迫られていたため何も英語を勉強せずにこの留学に臨みましたが、毎日英語と触れ合うことができるので最初に比べて英語が聞き取れるようになった。

専門知識の向上：

自分が経験したことがないアクティビティや教科が本格的にかつ手軽に受講できるので新たな発見や趣味にしたいと思うきっかけになった。また、北欧は聞いたことはあったが実際に行ってみてデンマークの歴史を知れたこと、幸福度の高さの理由、日本との違いを肌身で感じる事ができた。

自己成長など

私は来年度から教師として教壇に立ちます。その前にこの経験ができたことは自分の人生においても教師としても非常に良い刺激になり、新たに世界で活躍できる教師になりたいと思った。また、英語やデンマークの文化をはじめ、人間関係などから様々なことを学び、留学前に比べてモノの考え方や価値観が大きく変わったと実感した。大学はよくも悪くも自分の好きな友達を周り置けるがそれは社会に出たらできないからこそ、それを社会人になる前に経験できたのは非常によかった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

気になったらすぐ行動に移してほしいです。私は大学生活最後の春休みを利用して”卒業旅行”感覚で留学費が 1 番安価だからという安直な理由で留学をしました但当に行ってもよかったです。まず、このフォルケホイスコーレは 180 年以上の歴史があり、特定の分野(スポーツ)を通して人生を学ぶ学校で、発祥の地であるデンマークで経験できることは滅多にないことだと思います。他の留学先とは異なり本格的に言語を学ぶというよりも言語を学ぶきっかけになる場所・自分の将来や自分を見つめ直す場所であるため、初めての留学不安だなという人や就職が近づいている大学 3,4 年生におすすめしたいです。

私は安直な理由で留学を決意しましたが食文化が違ったなと本当に小さな気付きを得られただけでも留学に行った甲斐があると思っています。結論、留学は言語を学ぶことを目標に掲げるのが全てではないと思います。私はこの留学を通してもう少し色々なことに挑戦しておけばよかったなと感じています。大学 1,2 年生の時はコロナの影響で思うような生活が送れず、それを言い訳に行動に移せていませんでした。大学生活は長いようで非常に短いです。だから自分の心が高鳴る方へ一歩踏み出してみてください。

海外派遣留学生
留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	423,710
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	0
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	(約)40,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	(約)80,000
その他()	0
留学に関する費用の総額	543,510



(バレーボールクラブ)

海外派遣留学生
留学報告書



(研修旅行/コペンハーゲン)

海外派遣留学生
留学報告書



(余暇/サッカー観戦/現地の子どもとパシャリ)



(デンマーク人が部屋に乱入)

海外派遣留学生
留学報告書



(研修旅行/ノアプロ/フォトラリー)

海外派遣留学生
留学報告書



(卒業式)